

## 世界を魅了した江戸の画家たち ～ 若冲、北斎、琳派～

同志社大学文化情報学部

狩野 博幸 教授

1947年福岡県生まれ。九州大学文学部卒、同大学院博士課程中退。帝塚山大学教授を経て、京都国立博物館に。美術室長として「スター・ウォーズ」や「伊藤若冲」「曾我蕭白」などの展覧会を企画。2006年より同志社大学文化情報学部教授。『江戸絵画の不都合な真実』など著書多数。

「絵といえば西洋画。日本画なんてつまらない」と思っている人は多いのではないのでしょうか。しかし、意外と知られていませんが、江戸時代の日本の絵画はヨーロッパの画家たちにとっても大きな影響を与えました。「セザンヌやゴッホなど印象派の成立も、日本の絵があつてこそ」という面があるのです。この講義では、江戸期を代表する画家・流派を取り上げ、どのような作品が西洋の画家たちに刺激を与えたのか、その独創性・先進性を見ていきます。いままで知らなかった日本の美術のすごさ・素晴らしさを、きっと感じ取れるはずです。あわせて絵画の楽しみ方も伝授していきます。

- 第1章 空前絶後の絵画テクニック 伊藤若冲
- 第2章 時を超え、国を超えた画狂人 葛飾北斎
- 第3章 『RIMPA』世界に羽ばたく 琳派
- 第4章 日本の美術を楽しもう

## **第1章 空前絶後の絵画テクニック 伊藤若冲**

最初に取り上げるのは、最近、少しずつその名が知られるようになってきた伊藤若冲の魅力について。若冲の絵画テクニックは日本だけではなく、広く世界中の人たちを魅了しています。講義では、若冲絵画の先進性ととも、18世紀の日本、それも京都における文化の成熟度がテーマになっています。キーワードは、「自由」そして「個性」。21世紀のいまにつながりそうな雰囲気を感じ取れるはずです。

## **第2章 時を超え、国を超えた画狂人 葛飾北斎**

次は、みなさんにもおなじみの葛飾北斎。北斎は、アメリカの雑誌「ライフ」において「世界に影響を与えた人物 100人」に選ばれるくらい世界的に有名な画家です。代表作である『富嶽三十六景』のシリーズは教科書などで見たことがあるでしょう。この富嶽三十六景は、ゴッホやモネ、セザンヌなど印象派の画家たちに、さまざまな形で刺激を与えました。あの雄大な富士山の絵のどこに、どんな秘密が隠されているのでしょうか。

## **第3章 『RIMPA』世界に羽ばたく 琳派**

「琳派」は、俵屋宗達を祖とする、絵画の一流派です。画家たちの間に血縁や子弟関係はありません。デザイン性や装飾性に富んだ画風が特徴で、3世紀にわたって伝わっていきました。実は、この琳派、現在のデザインに通じるところがとても多くあります。その意味で「世界の琳派」、アルファベットで書く「RIMPA」なのです。その先進性・独創性を、有名な「風神雷神図屏風」を中心に見ていきます。

## **第4章 日本の美術を楽しもう**

江戸期を代表する画家が、世界の人たちに影響を与えていたことを知り驚かれたことでしょう。しかし、だからといった「この絵の解釈は？」などと考えなくて結構です。まずは、素直に絵のもつ力強さを感じ取ることが大切です。そして、少しずつでいいからその絵を描いた画家たちのことを調べてみましょう。最後の章では、狩野流「日本絵画の楽しみ方」を伝授してもらいます。